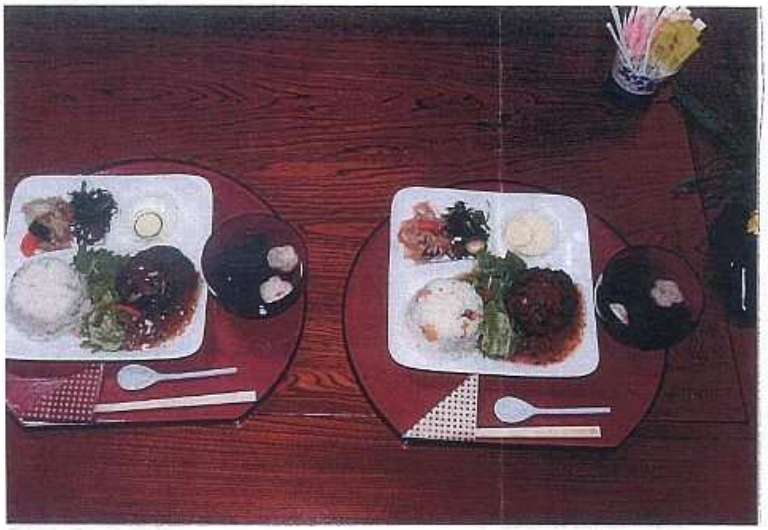
# こんにゃく新聞

'14.12.No.210
発行責任 市岡日出夫
0883-88-5292



なかなか雨模様の日になってしまったが秋の一日、オープンカフェ オープンしました。といっても一日だけですが地域の皆さんの交流の場としてもなかなかのものでした。

ワンコインランチも準備され、限定二食でしたが楽しんで頂きました。ランチは、祖谷にこだわった内容のメニューで、今、問題というか、困った存在になっている鹿肉を利用したランチ。

## オープンカフェ ありがとうございました

なかなかの味でしたよ。

コーヒーも千葉の方から送ってもらったコーヒー豆、美味った。その他にも抹茶もあったりして、なんともええもんでした。

Tさんの栗ご飯、Nさんの鹿肉ハンバーグ、Sさんの和菓子など、どれをあげても祖谷メンバーの手作り品です。水と空気の上に、作る人の心がこもった料理は、他では味うことが出来ない内容。

オープン前もなくお客さんが続き、気がつけば、ランチの二千食は終ってしまいました。

食後の話もはずみ、明日の祖谷のことなども話されて、いい場所になったものでした。

まだ、定期的にオープンするには、スタッフの関係で難しいですが、来年度は回数も多くしていきたいものです。

また、一月十一日には、フェアトレード豆焙煎教室も開かれようと準備中ですので楽しみが増えそうです。

ともかく、祖谷に住んでる私達が工夫をして祖谷の暮らしを楽しみたいとおもいます。

## おめでとう

### 社会福祉大会で表彰

十一月九日開催された第九回三好市社会福祉大会において、東祖谷小規模作業所「愛生」の中心メンバーの一人として頑張っている滝脇進さんが表彰されました。

おめでとうございます!!

「愛生」に参加する様になってから、様々な作業にも努力し、頑張っていることが認められ「自力更生努力者」としての表彰でした。

農作業をはじめ、山菜獲りなど率先している姿を見ている私にとっては、嬉しい限りです。

本当に、黙々と作業する忍耐力は尊敬に値するとおもいます。

これからも、お身体に気をつけて、頑張って「愛生」に頑張ってほしいとおもいます。無理せずに!!